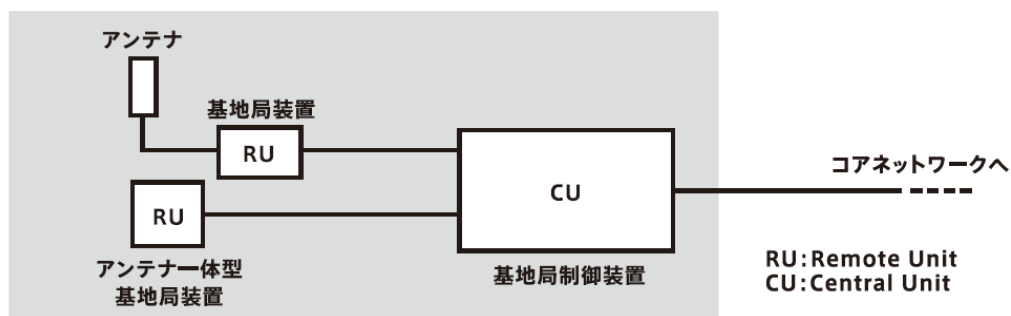
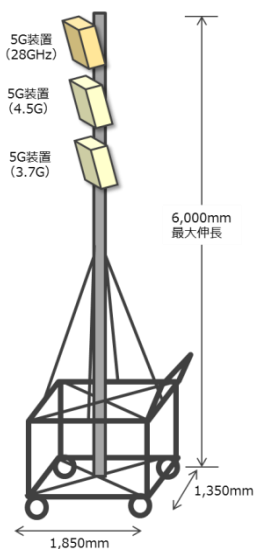


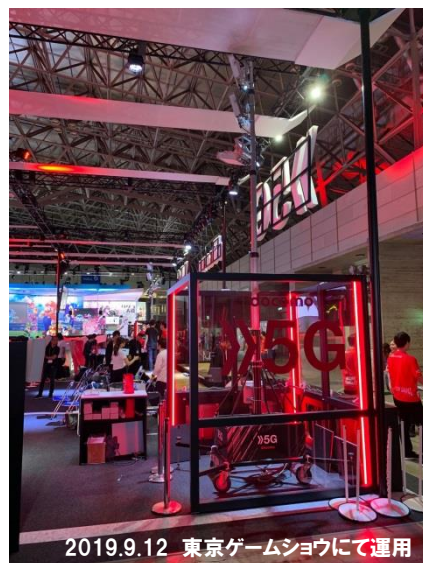
5G基地局構成



基地局仕様



利用シーン



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

商用化済

- タイムリーな基地局構築によるエリア提供
- パートナー様との柔軟な実証実験環境やイベントにおける一時的なエリアを提供

概要

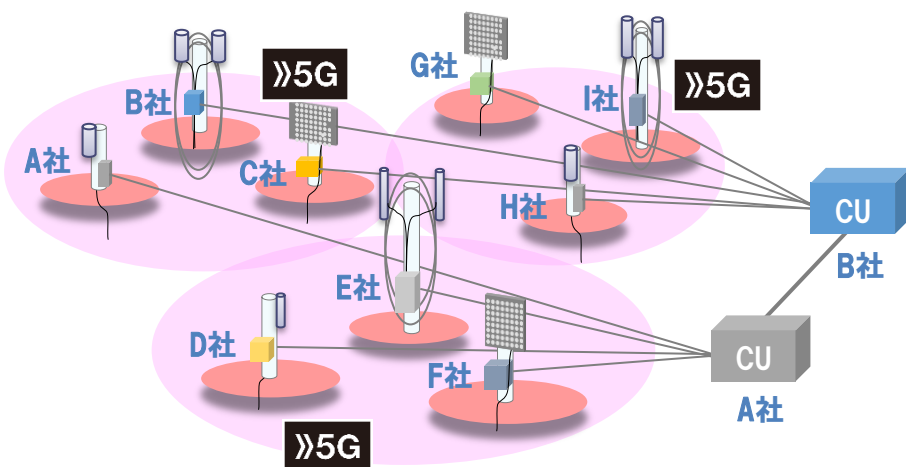
- 5G時代の様々なアセットを活用したネットワーク提供に向けて、5G搭載可搬型基地局(テンポラリー基地局)を構築する
- 5G時代においてはパートナー様とのサービス協創を行っていく機会が増加することから、よりタイムリーにパートナー様へ5Gエリアを提供する手段の一つとして構想



O-RAN ALLIANCEの設立



異なるベンダ間での相互接続



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

商用化済

- LTE基地局と5G基地局, 5G基地局同士で世界初のベンダクロスを実現 (2019/9/20 商用運用開始)
- 無線装置や連携するLTE基地局に依らずに, 5Gエリアの構築を実現
- エリアに応じた柔軟性の高い, よりオープンな次世代の無線アクセスネットワークの構築が可能

概要

- 2018年、世界の有力キャリアと共に、世界共通の基地局装置間インターフェースをつくる、ワールドワイドな組織を設立
- O-RAN ALLIANCE は拡大を続け、5G基地局における装置間インターフェースのオープン化・共通化を推進 (※O-RAN:Open Radio Access Network)

コラボレーションパートナー

- O-RAN-Alliance参加メンバ(2019年11月現在)
- オペレータ:22社、ベンダ・プロバイダ等:104社

